様式１ 　 うまくいっているところに着目した指導【教科：算数・数学】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 受講番号 |  | 所属校名 | ○○立□□学校 | 学級学年 | 知的障害学級　　　〇学年 | 受講者名 | ○○　○○ |
| ①対象児童生徒の実態 |
| 〇算数・数学科（領域：数と計算）の系統性を踏まえた実態（どこまでできているか）・〇本児の興味・関心、得意なこと　等・ |
| ②本時の題材名 |
| 〇 |
| ③本時における対象児童生徒の目標 |
| 〇 |
| ④対象児童生徒への手立て（①の実態より、できていること、興味・関心を踏まえる） |
| 〇教材教具の工夫（児童生徒が正解を確かめられる教材　等）・ |
| 〇教師のかかわり（児童生徒の意思を確認しながらかかわる　等）・ |
| ⑤本時における対象児童生徒の様子（児童生徒の思い、考えも含めて） |
| ・ |
| ⑥協議したいこと |
| 〇指導を通して自身が学んだこと・ |
|
| 〇今後の課題として検討したいこと・ |

※A４判両面一枚以内で作成してください。

※内容は、箇条書きで具体的に記入してください。

※研修当日は、この様式で作成した資料を７部、また、対象児童生徒の個別の指導計画を７部

持参してください。